



「突然の訪問に大喜びの子どもたち」
～高橋知事 篤泊保育所を訪問～

平成15年 6月号

広報 

いしし富士

No.197



「人が輝けば地域が輝く、 地域が輝けば町が潤う」

平 成十五年利尻富士町議会第一回定例会の開会にあたり、平成十五年度の町政執行に対する私の基本的方針を申し述べ、町議会議員の皆様並びに町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

二〇一二年の日本は政治とカネをめぐる不祥事が相次ぎ、国会議員が疑惑絡みで辞職や逮捕されるなどマスコミでも大きく取り上げられ、また、経済対策は決め手を欠いて景気低迷が続くなど国民の不信感が増幅し、牛肉偽装事件や食品不正表示の横行、東京電力のトラブル隠しに見られるように企業倫理が厳しく問われた年でもありました。

このように、暗いニュースが多かったなかで、小泉首相が朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）を訪問し初の日朝首脳会談の

平成 15 年度 町政執行方針

実現と、拉致被害者五人が帰国し日本の生活を取り戻したことは誠に喜ばしい限りであり、また、小柴昌徳さんが物理学賞、田中耕一さんが化学でノーベル賞をダブル受賞したこと、さらに日韓両国が共催したサノカIW杯で日本が決勝トーナメントに進出したことは初の快挙で、いずれも国民に大きな感動を与えましたことは記憶に新しいところであります。

国際的には、インドネシア・バリ島で大規模な爆弾テロが発生し、日本人2人を含む約一九〇人の犠牲者が出たこと、依然としてテロに対する危機感が続くなか、イラクの大規模破壊兵器の開発疑惑をめぐる国連査察は安保理決議を受けて約4年ぶりに再開しましたが、米政府はフセイン政権打倒に向け武力行使も辞さない構えで、その後の展開は予断を許さない緊張が続く世界情勢となっております。

さて、早いもので私が多くの町民の皆様のご支援をいただき町長という大役につきましましてから、二年目の予算編成をすることとなったところでありますが、町民の皆様の大きな期待と、その責任の重さをひしひしと感じながら、「ふるさと利尻富士町が輝くことができるまらびづくり」を目指して、町政の推進に誠心誠意努力して参りますので、議員各位並びに町民の皆様のご更なるご支援とご協力を心からお願ひ申し上げる次第であります。

ここで本町の話題を取り上げてみますと、本町の一大産業である水産にあって生産額は、鰹漁協では約12億3300万円、鬼鷹漁協は約5億2700万円、合わせて約17億5千万円で、根付漁業が真かつたことから前年実績より約2億4千万円の生産増となりました。

また観光については、利尻、礼文の最北観光にあとこれ、ジェット機就航の定着と関西空港からのチャーター機によるツアー客などの入込みもあって、上半期の九月末では前年同期より二・六〇〇人多い二四三・一〇〇人となりましたが、観光時期は年々早まる傾向にあって、その受け入れ体制についても再考しなければならぬ状態のなかで、今年に入ってからこの3月もすでにツアー客を訪れるなど既に観光シーズンを始まるとような感じさえており、また、今年1月からは利尻・礼文間

の飛行機が通年運航、5月からは利尻・稚内間のフェリーの定期航路に新造船「ボレアース宗谷」が就航するなど、交通輸送機関の利便性が図られることによって観光客の入込み増と観光産業の進展が図れるものと期待しているところであります。

一方、我が国の景気は依然として低迷を続け、雇用、金融、経済、財政など、あらゆる分野で極めて厳しい状況下にあり、これまでの社会を支えてきた様々な仕組みが大きく変化しているなかで、少子高齢化対策、環境問題、町村合併、支庁再編など私たち地方自治を取り巻く環境も大変革の時代に突入いたしました。また、先に発表された国の予算におきましては、活力ある経済社会と持続的な財政構造の構築を図るため、「改革断行予算」を継続し、歳出全体を厳しく見直して大胆な質的改善を図ることが打ち出されました。

地方財政においても、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が大幅に減少する一方で、公債費の累増等により、平成十四年度に引き続き大幅な財源不足が生じており、限られた財源の重点的配分と歳出予算の徹底した見直しと効率化を図り、経費全般について徹底した節減合理化に努め、最小の経費で最大の効果を挙げる事ができるよう、地方分権の時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立し、持続可能な財政基盤を確立することがこれからの課題であると語られております。

本町においても今後の行財政を執行するにあたっては社会の現況を見極め、細心の注意と積極的な情報収集、そして迅速で柔軟な状況判断が必要と自覚しながら当面の課題解決に取り組むとともに、将来をも見据えた新たな課題にも積極的の目を向け、この一年も精一杯の力を発揮したいと考えておりますので、今後ともよろしくご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

そこで、本年度の命題として「人が輝けば地域が輝く、地域が輝けば町が輝く」という基本理念をもって町政の運営、推進にあたる覚悟であります。

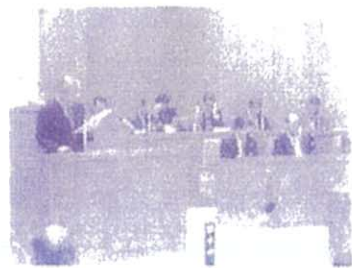
その施策の柱として、

- 第1 活力をはぐくむ産業の推進
- 第2 健やかで生きがいのある暮らしの創造
- 第3 人と自然に優しく快適な生活環境の整備
- 第4 共に創るまちづくり
- 第5 財政運営と行財政改革の確立

第1 活力をはぐくむ産業の推進

この5項目を掲げ、施策を掲じます。
このため、一般会計におきましては、前年度比〇・三〇減の42億5400万円とし、特別会計と合わせて総額66億4916万1千円（前年度比三・一〇減）の新年度予算を編成いたしました。
以下、具体的な施策につきまして項目毎に申し上げます。

昨年、我が町の基幹産業である水産業は、生産額で約17億6千万円（前年対比約一・一六倍）で約2億4千万円の増となりました。これは、例年、生産高の上位を占め根付漁業の基盤となっているノナ・ウニの生産の伸びが大き、ノナにあつては、生産量で約四十八トン（前年対比二・四二倍）、生産額で約3億3千万円（前年対比一・三七倍）、ウニにあつては、生産量で約二三トン（前年対比一・二八倍）、生産額で約3億3千万円（前年対比一・九九倍）と増収になったのに加え、コン



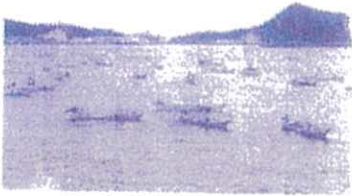
プロ天然コンブが鰹油において約一五八トン(二・二倍)の約2億8300万円(二・二七倍)と大幅な増産でした。反面、鬼腸では約二十二トン(〇・三三倍)の約3300万円(〇・三一倍)と落ち込みが大きかったものの、町内全体では約一八〇トン(一・二八倍)の3億1500万円(一・三八倍)と、増産、増収の結果となっております。

養殖コンブは、鰹油で約五十八トン(一・〇五倍)の約1億200万円(〇・七七倍)、鬼腸では約三十六トン(一・二二倍)の約6800万円(二・〇倍)、町内全体では約九十四トン(一・一一倍)の約1億7千万円(〇・八五倍)となり、生産量では前年を若干上回ったものの、販売価格が全道的に豊漁予想がなされていたこともあり落ち込んだ結果となりました。また、アワビ漁は、約六・三トン(四・二倍)の約3400万円(三・三九倍)と近年にない水揚げとなりました。

漁船漁業では、ひらめ漁は、生産量、生産額ともに前年の約二・九倍の約3400万円と好調であった半面、タコ、カレイはつけ漁が生産量、生産額ともに前年を大幅に下回り、総じて魚価安傾向でありました。

このような状況を踏まえ平成十五年度は、国・道・関係機関のご支援のもと、水産資源の持続的利用の確保、水産業の健全な発展を通じて、国民に対する水産物の安定供給を基本理念とする水産基本法及び同法に呼応して昨年制定された北海道水産業振興条例に基づく国及び北海道の基本計画と、それに基づく具体的な施策の展開にも配慮しながら漁協・漁業者と一体となって、安全操業のもと浜が一層賑わい、漁業生産と漁家所得の安定、向上が図られますようこれまで以上に水産業の振興と漁業経営の安定に力を注ぎます。

これが実現のため、利根海域地区広域漁場増殖場造成事業として、北海道が事業主体で、タコ産卵礁を金崎沖へ七五〇基、大型漁礁(FP型)を鬼腸から金崎沖へ四四四基設置してタコ及びカレイ、ホッケ、ソイ等の資源を回復増大させ、漁船漁業の生産増大を図ります。これらの総事業費は3億8千万円が見込まれますし、同じく、北海道の事業主体で地先型の地域水産物供給基盤整備事業として、総事業費3500万円をもって、



←昨年9月に行われたノナ移殖放流事業。(湾内にて)

ウニ、コンブ礁(SKKフロック)六十八基を沿岸地先の砂地に設置し、ウニ、コンブの新規漁場造成を実施しますが、これに要する地元負担金も予算計上しております。

さらに、町単独補助事業として、鰹油漁協は深みのノナを、鬼腸漁協は深みのノナと河口付近の稚ウニを浅海の海藻繁茂海域へ移殖放流する事業のために、両漁協に対して二分の一相当額を予算計上し、未利用ウニ、ノナ資源の利活用による生産の向上を図ります。

また、鬼腸漁協にあつては十二年度は町の補助事業として、十三年度からは北海道補助の資源管理事業として、ノナ放流によるヨレモク駆除事業を実施し、コンブ等の有用海藻の繁茂と、ノナの身入り向上によるウニ生産の維持、増大を図ってまいりましたが、ノナの身入り向上はもとより、昨年水産課が行なった水調査でもヨレモクの駆除とコンブ等の他の海藻の繁茂に一定の成果が認められたことから、本年度もノナ移殖を継続するとともに新たに南浜、野中、金崎海域を中心としたヨレモク分布調査を行い、今後の駆除計画の樹立に役立てるべく計画をしており、これらに対しても道費補助額の二分の一、相当額と、町単独補助事業として、引き続きウニの人口種苗放流事業に対しても二分の一相当額を助成すべく予算を計上しております。

特に、ウニについては、長期的に見て減産傾向が顕著であり、ロシアからの輸入が急増しつつあるなかで持続的・安定的な資源拡大に向けた取り組みが求められており、ウニ、ノナともに適正な漁獲サイズ及び漁期の設定等による資源管理の徹底推進と、漁業者自身の手による移殖放流等の進捗がこれまでに以上に重要であると考えられます。移殖放流に当ってはコンブ等有用海藻へのノナによる食害の影響を回避すべく、放流密度、放流海域の選定にも配慮しながら実施しなければならぬと思われれます。このため、町としても水産技術普及指導所等の協力を得ながら、より効果的な移殖放流技術の普及と普及による移殖放流効果の測定等に漁協と一体となって取り組んでまいります。

また、昨年6月からウニのむき身など生食用魚介類加工の新基準が施行されるなど、これまで以上に魚介類の鮮度保持、衛生管理の徹底が求められていることから、これまで漁協の行う

地下水のボーリングや、紫外線殺菌装置の設置事業等に助成してまいりましたが、十五年度は、本泊漁港内に十三年度に設置した地下水給水設備に紫外線殺菌装置を付架する事業に対して、道費補助金の二分の一相当額を助成すべく予算措置もいたしました。

これら設備の有効活用とともに低温の殺菌海水、あるいは人工海水の使用徹底と、加工従事者等の衛生管理の徹底等を通じて安全なウニ類を生産、提供していくことが利尻名産のブランドをこれまでに維持、向上は重要であると考えておりますので、その指導を徹底するとともに、本年から鰯泊地区の一部で下水道が供用開始されますので、海水の一層の清浄さが確保されていくものと期待いたしております。

コンブ養殖漁業は、生産性が高く安定した漁業としてわが町の栽培漁業の中核をなしていますが、着業者の高齢化等によって、従事漁家が減少の傾向にあります。しかし、昨年からは鬼脇地区で新規着業者が出てきていることから、鬼脇漁協で計画しているコンブ養殖施設2基の設置事業に対して、道費補助金の二分の一相当額を助成すべく予算計上いたしました。

養殖コンブ乾燥機の導入については、道の補助要件が共同利用とされていることから、漁協の計画によって道の補助事業として採択のめどがつけば、町としても助成を検討しており、道の補助の推移を見守りながら補正予算で措置したいと考えていますのでご理解を賜りたいと存じます。

コンブ輸入割当制度の堅持については、「コンブ輸入割当制度堅持北海道自治体協議会」等を通じて、国など関係機関への要請行動を昨年引き続き行って参ります。

近年、食への安全に対する関心の高まりの中にあつて、水産物にあつても本物志向、ブランド化、産地の差別化、品質表示の徹底が一層求められております。我が町には、利尻こんぶなど既に高い評価を得ているものもありますが、鰯泊の活ひらめは、これまでの採捕から出荷までの一連の鮮度向上等の努力の甲斐あつて、東京露地市場に於いて全国一の名声を得るに至つておられることですが、昨年十月に鬼脇港内に着養殖施設を建設し、早速、ヒラメ、カニ等の着養殖に利用されつ



←今年度改修が予定されている南浜漁港。写真は昨年同漁港の様子。

あることは皆様もご承知のとおりであります。

これの活用により、鬼脇に於いてもヒラメ等の特産的な魚介類の付加価値向上と産期の出荷、来島観光客等の提供も可能となり、漁家所得の向上が図られることはもちろん、本年3月からこの施設と観光ツアーとの提携も試みられつつあるように聞いておりますので、今後は観光関連産業の振興にも役立つものと思つております。

反面、鬼脇漁協青年部のエゾアワビ養殖試験事業は、天然アワビの増産による販路の縮小、種苗導入に対する道補助が十五年度から打ち切られることなどによって、新規種苗の導入は困難となつたことから、養殖規模縮小のやむを得ない状況になっております。

毎年大きな被害をもたらす、漁業生産を阻害しているトトの被害防止対策事業として、ハンター、船長の雇用賃金、備給料等を前年度に引き続き予算計上しております。成果の上がりつつあるヒラメ稚魚放流の継続、将来の資源つくりに向けたニシン稚魚の試験放流を行うとともに、昨年は約3千円の水揚げがあつた、さけふ化放流事業の効率化、回帰率の向上のための種全大型種苗の放流等にも引き続き取り組んで参ります。

さらには、利尻三町と六単協が一致して共同漁業海域と周辺海域との一体となつた漁業資源の保全、増加、開発対策等を引き続き北海道等に要請するとともに、本町低利用の有用、特産的な漁業資源の活用と、昨年からの着手したアワビ養殖など新規栽培漁業の可能性について、皆さんとともに新たな発想のもと検討・実践し漁家所得の安定向上に力を注いで参ります。

漁船漁業の操業と労力の軽減、安全確保のためには、漁港・港湾等の基盤施設の確保と整備が不可欠であり、これまでになりの整備が進められてまいりましたが十分ではありません。

このため十五年度の北海道が事業主体の漁港整備事業として、南浜漁港では地畷水産物供給基盤整備事業として、水産協同型外防波堤の建設を本年は本体十町の据付と消波ブロックの据付等が見込まれており、これらの事業費は約2億2千万円を見込まれております。

雄志志内漁港では、漁港泊付活産化対策事業として、岸壁改

橋の建設に昨年から着手しており、本年の完成を目指して事業費6200万円が見込まれ、これに要する地元負担金として620万円を予算計上しております。

本泊漁港大磯分港の東寄りの海岸に近年砂が打ち上げられ、人家、干場、町道等に深刻な被害を及ぼしつつあることから、地域住民との協議の結果を踏まえ、道に防砂堤的な抜本的な対策を強く要請して参りますし、当面の応急対策として砂除去工事請負費60万円を予算計上いたしました。

野中船揚場の消波堤については、風向きによっては越波が著しいことから改良を検討してまいりましたが、道の補助を得て嵩上げと延長を2カ年で実施すべく初年度の十五年度では消波ブロック製作費として2千万円を予算計上しております。

近年、強い波浪のため町内各所で斜路、船揚場等に転石やブロックの打ち上げが頻繁となり、漁業者の揚船、出漁にも支障を来していることから、船揚場補修工事請負費や船揚場維持補修費を予算計上いたしましたし、石崎や港町地先等の海岸保全事業の積極的な推進を道に要請して参ります。

港湾にあつては国の直轄事業として、鷺泊港では防波堤(島)のケーソン1面製作、消波ブロックの製作等とマイナス25m低天端物揚場 延長三七m、取り付け道路8mの新設が見込まれており、鬼腸港では防波堤(島)のケーソン2面、延長三〇mの据付及び消波ブロック据付等が見込まれており、両港合わせた総事業費は約10億9千万円の見込みで、国の公共事業予算削減の中にあつて、ほは要望どおりの事業費が確保される見込みであり、これに要する地元負担金として1億8千万円を予算計上し、両港湾の出入港の安全と港内の静穏、荷揚げ作業の軽減、安全対策を推進いたします。

これらの諸施策に加え、我が町には年間二十五万人に及ぶ観光客が訪れ、宿泊施設も増設されつつあり、地場水産物の消費拡大も予想されますので、昨年鷺泊漁協で導入したウニの急速冷凍機や、鬼腸の蕎麦酒施設等の利活用を推進するなど、地元採捕の新鮮・美味の水産物を直接提供すべく、宿泊・飲食店・売店など観光産業との連携を深めながら、漁業・水産加工業さらには町の経済の活性化を図って参ります。



→近年砂による侵食が著しく、付近の人家等への被害が懸念される大磯漁港。

次に観光産業について申し上げます。

昨 年の上半期における4月から9月までの当町における観光客の入込み人数は、二四三、〇〇〇人で前年同期と対比すると二、六〇〇人の増で、宿泊客は、一、三〇〇人と七〇〇人の減となっているものの、宿泊客の種べ入訪で見ると五、七〇〇人ほどの増となっております。

これを道外・道内観光客別にみると、道外観光客数は一四九、二〇〇人と6割強を占め、道内観光客数は九三、九〇〇人と約4割を占めております。

観光入込みの状況を見ると、宿泊施設が確保しやすい時期にシフトしたことや、開花時期の早まり、夏場に天候不順が続いたことなどにより4月から6月は前年度を上回っているものの、特に7月の入込みが低調な結果となり、過去の7月から8月の最盛期が満遍なく各月に移行したのと思われ、今後においてもこれらの傾向は続くものと推測されます。

また、利尻、千歳間の伸びや関西空港からチャーター便など、空路や航路の交通アクセスの充実により、景気低迷で個人消費が伸び悩み国民の旅行回数も減少しているなか、利尻・礼文島の観光は根強いものがあります。前期の6月からこの3月まで含めて十四年度の観光客入込み予想人数は、十三年度並あるいは若干の減少にとどまるものと推測されます。

これらの行動の背景には、地元観光協会や宿泊業組合、観光関連企業等の自助努力や旅行エージェントとの連携は言うに及ばず、観光地としての条件が更に具備されたものと考えますが、今後においても継続あるいは一層の観光客の誘致に心がけ、観光関係者と一体となって取り組めます。

今年の観光については、昨年に引き続き関西空港からのチャーター便や豪華客船「日本丸」が七月二十九日鷺泊港に寄港の予定であること、また、観光協会が実施する七月二十日から九月三〇日までの期間の、先着百名の記念クーポン券の発行などもあり、十四年度並の観光入込み人数は確保できるものと予想しております。

観光産業の発展は官・民が一体となるとともに「美の創造」「美の追求」にあるといわれております。美とは「美しい」と

いうことですが、「創造」は思い浮かべるといふことでなく造ること、そして、美のあるものは大切に保存管理するということとであり、「美の追求」とは追い求めること、これは、ないものは研究して美しいものを開発すること、そして、更に磨きをかけ完璧なものにするということであり、今年度も自然美の保護、人工美の整備、美食、人情美と交流の創出をより積極的に取り組むことができるよう、環境を整えたいと考えます。

「自然美の保護」では、利尻島には誇れる山、海などの美しい自然があります。これらの環境を保全、整備するため環境省をはじめとして森林管理署や国立公園連絡協議会との連携を図りながら、自然に対する愛着とモラルの育成に努めて参ります。

特に、山のトイレ問題については昨年、環境省及び国立公園連絡協議会、町との合同で携帯トイレブースを4基設置し、携帯トイレの使用回収率も十三%の推計を得て年々その普及が図られておりますので、今年度も無料配布するとともに、利尻山環境整備連絡協議会の立ち上げに向けての細部のな検討も含めて、各機関との調整を図って参りたいと考えています。

その他、環境省との共催事業として、山と自然を愛する」と題したシンポジウムの開催や自然観察会を実施いたします。また、「人工美の整備」では、自然美の保護と同様に自然との調和を図りながら情報案内機能の充実や観光客が安心して快適に観光を楽しむことができる環境づくりを目指し、姫沼園地木道等の補修、ベシ岬展望台看板の設置等、既存施設の補修整備と環境省事業による姫沼園地看板の補修を行います。さらに、湖風を受けながら散策するベシ岬の遊歩道の新設や、利尻島の歴史・文化・自然を観光資源にどう活用できるのかなどの意見交換や調査を観光協会や宿泊業組合、地域の団体等とともに実施いたします。

島内・外から好評の利尻富士温泉保養施設については、平成十年五月一日オープンから6年目となり、費用対効果を明確にするためにも今年度から特別会社として運営するとともに、温泉給水施設増設工事や脱衣場の改造工事、温泉湯沸ポンプの入れ替え等を実施し、さらに利用の促進を図ります。また、レジオナラ菌対策といたしましては、総合交流促進施設北のしーま



4月1日からDHC8-300→
(通称ダッシュユイト)が
就航。島民待望の利尻-新千
歳間の通年運行が実現した。



オープンから6年目となる
利尻富士温泉、延べ利用
者は今年度中に50万人を
達成する見込み。増設や改
造・改修工事を行いさら
な利用促進を図る。

も含めて、従来どおり衛生管理を徹底するとともに、年3回の水質検査を実施し万全を期したいと存じます。

今年2月の札幌雪まつりの観光キャンペーンに合わせて、道内十三の旅行エージェンツを訪問・懇談してきたその内容を聞きますと、各エージェンツからは、利尻、礼文島は魅力ある地でありファンはまだ多く、自然を其を基本にしながらかもてなす心をワンセットにすることが観光客に感動を与え、リピート客の確保に繋がること、また、道外ばかりでなく道内に目を向けてPRすることも大切なことであるなどの提言がありました。

これらの旅行エージェンツの提言を参考にしながら、水産と観光の連携体制はもろろん、歴史文化や産業文化も含めて我がまらの魅力を追求するため、観光関係団体ばかりでなく地域の様々な団体等との意見交換や懇談会を開催すべく、行政としても参画しつつ連絡調整の役割を担って参ります。

また、町のホームページを含めて様々な媒体を活用し、利尻島の観光情報を発信・提供するとともに、新たな道づけとなる四月一日から千歳・利尻間にDHC8-300の運航の就航。七月二十九日豪華客船日本丸の寄港などの発表、乗船者に対しては温かい心で歓迎できるように、歓迎型華笠や記念品も準備いたしました。

以上、具体的な施策の展開については、観光関係団体や地域観光団体における役割を分担しつつも、地域や団体からの意見を拝聴しながら取り進めたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

次に商工業の振興について申し上げます。
昨年の水産業は先程も申し上げましたように十三年と対比すると生産高が増額、観光産業も若干の減少と、全体として個人消費は全国的に景気が低迷している関係もあり、将来に不安があつての買い控えがあることと予想されますが、地域の購買力は減少の傾向にあります。これら購買力を高めるためには何といつても事業者が創意工夫による経営改善や適切な対応が必要であることはいふまでもありません。
特に、本町の経済と商工業の活性化は公共事業に依存して

るところが大きく、公共事業費の減額は住民の生活にも影響があるものと考へます。

そこで今年度分の国など他機関が実施する土木関係の公共事業を申し上げますと、砂防事業では稚内土木現業所関係で、雄志内川一号砂防ダム改良一箇所、アフトロマナイ川床固工一基、二股沢川床固工一基・橋梁一箇所、宗谷森林管理署関係では、アフトロマナイ川コンクリート谷止工一基・法面緑化工一〇・四七ha、港町地区治山工事雷崩防止柵三〇基、森林整備事業として鬼腸地区で下刈三箇所三八・八ha・植林一ha、火防線刈払い四・二ha・作業道修理（不陸均し）二・二〇〇m、除間伐十三・三六ha、霧泊地区では下刈一箇所二・五五ha、火防線刈払い五・八ha・除間伐四七ha作業道修理二・五〇〇m、宗谷支庁林務課関係では、復旧治山としてオサツナイ沢川谷止工二基、北ニチンドマリ沢川護岸工五八〇m・法枠工五二〇m・植栽工一・九五〇m、小規模治山事業でヤマナイ沢川土砂運搬排土、富士岬地区防風林造成二・五ha、野中地区保安林改良三六ha、除間伐・野中地区外一箇所一haとなっており、道々の整備では石崎地区木工事三八〇mと用地家屋補償、釧泊地区は測量試験と用地買収、雄志志内地区は木工事五十mと用地家屋補償、湾内ロックシェッド山麓掘壁工一一〇m、富士野地区防雪柵工三三六m、旭浜地区路肩改良工三四m、区画線・オーバーレイ工事などが予定されております。

現時点ではこれらの事業費を個々に提示することは出来ませんが、十四年度ゼロ国債等を含めた事業費総額では一億六千四百〇〇万円、前年度並の事業費となっており、町内の景気対策の一助となれば幸いであります。

以上が第一に掲げる「活力をはぐくむ産業の推進」でありませんが、若者が定住できる活気あるまちづくりを進め、異業種間交流など地域の特性を十分に生かした活力ある地域産業の振興に意欲的に取り組んで参ります。



←石崎アフトロマナイ川上流の様子。(4月下旬)

第2 健やかで生きがいのある暮らしの創造

本町の住民が安心して暮らしていくためには、保健・医療・福祉が一体となった行政の充実が求められており、少子高齢化が益々顕著に進んでいる町内の人口構成にあっては、その内容を吟味しての対策が必要であります。

特に、高齢者福祉の拠点である特別養護老人ホームや、老人保健施設等を利用する介護保険事業も3年が経過し、本年度は保険料を含め計画見直しの時期にあたり、先般、策定委員会より答申を頂いたところではありますが、3ヶ年の給付額の計画と実績を比較しますと、十二年度では計画を下回りましたが、十三年度は上回り十四年度でも大きく上回る見込みとなっております。

また、国の調整交付金は、七十五歳以上の後期高齢者数や世帯所得者数により交付されますが、当初より対象人数が増え基準の五割より大きく増額になっており、二ヶ年を通して約三億二千万円の準備基金を積み立てることができました。このため保険料の見直しにあたって検討した結果、同基金の取崩しと調整交付金の増額分、保険料の財源措置として交付される准拠加算分を財源として、第一期保険料と同額で算出することができました。

今後はこの介護保険制度を充実させるための、社会福祉協議会と連携を図りながら、生きがい学校や移送サービス、軽度生活支援等の生活支援事業、食生活改善の介護予防事業、漁業・畜産内病院による機能訓練事業、介護教室等の実現充実に努めなければならぬものと考えており、本議会の議決後、制度をより理解していただくために、広報によるPRや説明会を開催いたします。

昨年十二月、十五年度行政改革実施計画（案）を議会の皆様にご協議申し上げ、ご意見を頂いたところでありますが、在宅福祉の受け皿となるホームヘルパーの資格取得助成制度の創設や、医療技術者等修学資金貸付制度の対象者を理学院法士や作業療法士、介護福祉士まで拡大し、今後増加が見込まれる介護制度の利用者に対応するための制度の確立、改正を実施いた

します。また、家族介護や地域ボランティアの育成を念頭においた、ホームヘルパー資格取得講習会を利尻町と共同開催することを協議しておりますが、受講者や講師の確保の面から両町で検討中であることを申し述べておきたいと思っております。

本町の経済を長い間支えていた七十歳以上の方は、本年度では八九二人が見込まれ、年々増加する敬老会出席者や敬老年金受給者につきましても、議会の皆様のご意見を参考として、段階的な年齢の引上げや所得制限を実施する方向で関係部分の条例改正等を提案しております。

昨年十月の医療制度改正に伴う自己負担限度額の引き上げや、老人保健制度の年齢引き上げなど、国の厳しい財政事情が年金制度とともに抜本的な改正がなされました。このため、北海道医療助成制度に所得制限が設けられていることや、市町村単独老人医療助成制度の全道的な減少、六十五歳から六十九歳の方を対象とした「道老」の助成要件の緩和など全般的な制度の整合性を踏まえて、町単独の「町老」制度にも所得制限を設けようと考えております。

低所得者を対象としている燃料費軽減扶助事業を、本年度も道の補助制度を活用し、前年同様の配分枠をもって継続して参ります。

また交通弱者対策である高齢者無料バスは、管内的にも見直しが報道されておりますが現行の姿で継続し、通院や老人クラブ活動、健康増進のための温泉施設の利用、地元商店の購買力の維持に寄与して参りたいと考えています。

障害者福祉の関係では、施設入所者に係る措置制度が4月から支授費制度として、利用施設の自由選択や費用負担など大幅に改正となり、これに伴う予算措置も不定期に提案いたします。

また、本制度に合わせて、ホームヘルパーを有する社会福祉協議会が、利用希望者が発生した場合に備えて事業所になるとともに、児童の分野についても母子通園センターが引き続き業務を遂行します。

保育所の運営については、少子化に伴い年々入所児の減少が著しい現状にあり、厳しい財政運営を強いられております

が、今後、国が進めようとしている子育て支援施策の一端を用うためにも昨年より実施している延長保育も含めてサービスの向上を図りたいと考えています。

また、少子化対策の一環として実施している乳幼児等の医療費助成は、現在も道の制度を一部拡大して実施しておりますが、今後は町財政の動向を見極めながら検討していかなくてはならないものと考え、時間の猶予を過ぎないものと思っております。次に、保健師業務の根幹をなす保健事業のうち、母子保健については、妊婦健康審査をはじめ乳幼児健康診、各種予防接種など医療機関、保健所と連携を図りながら進めて参ります。

老人保健においては、レントゲン車による春の結核検診は本年度から保健所の事業が見直されたことにより、町で民間業者に委託の上、従来通り巡回する体制で実施いたします。

また、三〇年の長い間住民の医療を支え、残されてきた北海道動医協の集団検診は、医療スタッフの確保にあたるうえでの苦慮や、これに伴う検査項目の減少、移動検診実施市町村の減少等により、協議の結果撤退の止む無きに至ったところであり、この間には早期発見により元気で活躍されている方もおり、また、現在も札幌の病院を利用されている方もおりますが、動医協の関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。

このことから、本年度からは従来の検診項目を若干変更、追加して秋に健診専門業者に委託する方向で話を進めており、本日、札幌において受託業者による関係市町村の説明会が開催されており、早期発見、早期治療をモットーに地域の方々が進んで受診、検診できるように体制を整えたいと考えています。

本町の福祉行政が施設の整備や雇用体制など、時代に先駆けした施策を実施できたことは、議会をはじめ関係団体の方々のご理解と温かいご支援によるものであります。これからは「ぬくもりのある地域づくり」が福祉の根幹であることを踏まえながら、助け合いの心「互助精神」の大切さを重視しながら福祉施策に取り組みたいと思えます。

次に教育行政については、校長向坂教育長から述べられます

が、学校教育、幼稚園教育、生涯学習、社会教育、スポーツ、文化の充実・振興について、教育委員会の方針を積極的に取り入れながら、教育行政と一体となって推進して参りたいと存じます。

第3 人と自然にやさしく快適な生活環境の整備

本町は豊かな自然環境に恵まれ、その中で町民の生活や生産が営まれる自然と共生する町であり、町民の皆様が安心して快適な生活を送るために積極的な施策の展開をしなければなりません。

豊かな住民生活、活力ある地域経済、安心して取り組むことができる社会活動を推進するためには、根幹をなす道路の整備度の改善により財源の確保が困難になって参りました。しかし、これまでも町道の整備は計画的に実施してきたものであり、補助制度が改廃されたのみで整備を中止できるものでなく、計画の変更は余儀なくされながらも地域の安定した生活を確保しなければならぬと考えています。このため今年度も自然休養林甘藷水線舗装工事、鷺泊市街9号線改良舗装工事、野塚支線道路新設工事や町道の改良、舗装補修、側溝改修工事などを行います。

冬期間の除雪対策につきましては、交通の安全と安心して快適な生活を保障するためには、除排雪の徹底は欠かすことができません。しかし、昨今の財政事情も考慮し、また、民間の活力を導入して地域の活性化を図る意義においても、今年度から民間業者へ委託して除排雪を実施するよう予算措置いたしました。心配される地域住民へのサービスには委託業者と緊密な連携のもとに、気配りある除排雪に万全を期すよう努力しますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。

駕 泊市街地の道々拡幅工事については、昨年三月に期成会が発足し九月二十七日に閣僚する地域住民の同意を得て、その後稚内土木現業所を始め関係機関へ早期着手に向け強く要請をしております。今年度から二ヶ年をかけて地元商店会、商工会、



←鷺泊地区の道道拡幅工事
早期着工へ

期成会、観光協会、鷺泊漁業協同組合、地域住民及び稚内土木現業所ともクイアアップしながら二十一世紀のまちづくりを視野に入れた、利尻富士町鷺泊市街まちづくり事業計画を策定して、道々拡幅事業の早期進展を図って参りたいと考えております。

下 水道整備については、今年二月末に鷺泊処理区が一部利用開始の運びとなり、着工以来ご指摘いただきました議員の皆様を始め関係者の皆様にご留意を申し上げます。これにより一般世帯六四五戸、事業所関係六十四戸、合計七〇九戸、一六四一人の町民が下水道を利用することができるとになり、快適な生活を送ることができると確信するものであり、また、市場である前浜の水質改善に寄与できると考えます。

引き続き、今年度は未実施区間の管渠工事一、三二五戸を一億一千万円で施工するほか、浄化センター管理委託料一、二九五万円、供用開始に伴う水洗便所改造等補助金一、五〇〇万円、貸付金利子補給金二、一〇八千円、また、町有施設下水道接続関連工事費として一、五〇〇万円を予算計上して、より多くの町民に有効に利用していただけるように水洗化と利便性普及促進のためにPRを行いながら、下水道処理施設の良好を維持管理に努めて参ります。

鬼腸処理区（清川と釜崎）については、地元住民との懇話会の開催結果を踏まえて、今年度は下水道事業認可変更申請及び知事代行新規要望申請を行い、平成十六年度以降五ヶ年で事業を完成させたいと考えております。

簡易水道事業では、安定して良質な飲料水の供給を図るため水源地や配水池等の維持管理を継続的に行いながら、老朽化した配水管に起因する断水事故防止改善のための管路整備計画策定に取り組み、下水道供用開始に伴うトイレの水洗化や夏期助の観光客の入り込みによる水道使用量の増加に万全な対策を講じます。

消 防、交通安全体制の充実につきましては社会情勢を反映して救急業務が増加するなど、消防行政は社会の変化に即した多様な対応を求められています。

昨年の稚内中央地区大火災のように視準多様化する大災に対応できる消防施設整備の充実、救急隊員の技術向上と救急救命

士資格取得のために職員を派遣し救急体制の充実を図り、地域住民の生命財産を守り安心して安全な生活を確保するため努力して参ります。

交通安全におきましては、去る二月三日に死亡事故ゼロの記録が一〇〇〇日達成し今日まで継続中であり、今後も関係機関・団体の協力を得て街頭指導や交通安全思想の普及に努め、良好な環境づくりと町民総ぐるみでの交通安全運動を徹底いたします。

火山噴火予知連絡会と気象庁が、利尻山など二十二火山を新たに活火山に追加するとの発表がありました。これは過去二〇〇〇年以内の噴火から、過去一〇、〇〇〇年以内に噴火という活火山の定義を国際基準に合わせて変更されたものでありますが、情報不足に対する戸惑いや、観光などへの影響を懸念する声も一部にありますけれども、今すぐ噴火するということではありませんので、情報収集に努めながら今後の防災計画の見直しと、風評被害に対する情報提供を行って参りたいと存じます。

第4 共に創るまちづくり

まちづくりの主体は町民一人ひとりであることはいまでもありません。

その「ともに創るまちづくり」とは、町民と行政が一体となって取り組むことができる環境整備こそが住民自治の原点であると認識しており、まちづくりを進めるためには、目標と情報を地域の皆さんとも共有しながら町民の参加、参画のもと実践を通じての協働ネットワークの形成や町民ボランティアによる地域コミュニティの推進、また、本町が誇ることができる自然環境を生かしながらのまちづくりの推進を図らなければならないと考えますし、その目標に向かっての施設整備も必要であります。このため、昨年度の予算で「アメニティパークプラン」を策定し、本地区の地域資源と自然環境を生かしながら、人づくりとコミュニティ、既存施設と機能強化の融合を併せもつ、新たな公園づくり基本構想が完了いたしました。この基本構想を



→ 6月1日現在の交通事故死
ゼロ記録は1,118日。
1,500日達成は
平成16年6月17日。

第5 財政運営と行財政改革の確立

もとに個性と親しみのある地域づくりへの環境整備を目標に温泉水を活用した、温泉水利用型運動施設を核として観光産業にも貢献できるキャンプ場の整備、住民参加型の憩いの広場、森林浴・ジョギングも楽しめる歴史の森整備など、地域住民の健康づくり・健康回復施設として、また、高齢化対策における健康づくりと癒しの場としても活用していただけるように十四年度から十九年度までの六ヶ年をもって全体整備を行うものであります。

これが初年度として国の補正予算で確定したことを受けて受けましたので平成十四年度補正予算で5490万円をもって測量・地質調査と実施設計費を予算計上し、さらに今年度予算にはアメニティパーク温泉水利用型運動施設整備工事費として1億円を当初予算に計上いたしました。

これら実施にあたっては、「情報公開」や「住民と行政の協働」をまちづくりの新たな手段として取り入れ、意見交換会「ワークショップ」による地域住民の新しい考え方も取り入れながら、観光産業の振興や地域コミュニティを考慮した施設整備を行います。

昨年、町内の全地区で実施した地域懇談会は各自治会とも大変好評であったと思っています。特に特別職、管理職と腰を交えての懇談・懇親は、これまでもあまり例がないことから毎年実施していただきたいとの希望がありました。

町としてもその効果やこれからの住民参加のまちづくりを推進するためにも、その意義は大きなものがあると考えますので、継続して実施することとし、所要の予算措置を講じたところであります。

平成十五年度の予算編成にあたっては、平成十二年度国勢調査人口の減少と国と地方の責任分担の明確化による地方財政対策の見直しなどで、普通地方交付税の大幅な減額と、電気料金や漁業不振等により町税の伸びもあまり期待できないなかで歳入不足は深刻で、一段と厳しい財政運営を強いられるところ。

ありますが、多種多様化する行政需要を実施するためには、行政改革実施計画を視野に入れ、財源の確保と歳出の徹底的な見直しと効率化を図りながら予算編成にあたりました。

しかし、町債残高を見ましても、平成十四年度末で一般会計80億4862万7千円、簡易水道、港湾、下水道、介護サービス特別会計で15億1357万4千円、総額では95億6220万1千円の巨額に達しており、さらには下水道事業の今後の継続事業の実施やその償還の平年度化を予想するとき、財政の益々の硬直化は避けて通ることができないと思っております。

また、歳出に占める公債費比率は平成十四年度十六・五%で今年度は二〇・四%と上昇しており、財政の健全化を図るためには二―三年間は適正規模の予算編成をせざるを得ず、今年度は物件費の削減率の明示をせずに徹底した見直しを行うとともに、人件費については一般職の諸手当の削減や特別職の給料月額を町長5万円、助役3万円、収入役、教育長2万円をそれぞれ減額し、旅費についても三区分を二区分とし、船賃を一等材料から二等材料に改正するなど所要の改正条例を提案しているところであり、ご理解賜りたいと存じます。

次

に本町が抱える特殊財政需要について説明いたします。本町は一般会計のほか、今年度から温泉会計の費用対効果を明確にするために特別会計に移行したことから十本の特別会計で運営しておりますが、本来であれば特別会計は独立採算制を原則として運営しなければならぬところ、本町は受益者負担も考慮しながら一般会計で各特別会計に補填しており、本年度の繰出金の総額は4億3719万5千円と多額になっております。

また、一部事務組合にあつては国保中央病院に産婦人科・訪問看護・人工透析の負担も加えて5600万円、消防事務組合は本部・支署合わせて1億5734万7千円、学校給食組合5358万5千円、清掃施設組合2億2245万4千円と合計で4億8938万6千円の予算化を行い、各組合運営に係る所要の経費を全額予算計上しているところであります。

この結果、一般会計歳入歳出の総額は42億5400万円となり、不足財源については財政調整基金から5千万円、社会福

祉事業基金から3千万円、減価基金から5671万3千円など基金を取崩して歳出との均衡を図ったところであります。

特に、平成八年に策定された「利尻富士町行政改革実施計画」の推進は、経常経費の削減には努力されているものの、現実に行政改革が実施されているかは疑問であることから、ここから厳しい状況に置かれている町財政の健全化を図るため、「行政改革推進の検証」を推進し、現在の苦境の時代を乗り切つた「平成十五年度行政改革実施計画」を作成し、議員の皆様の見解も拝聴したところであります。今年度の予算は反映することができた分を申し上げますが、約287万円の増収と4111万円の削減がなされました。さらに、今年度の検討事項となっている項目についても積極的に推進し行政改革を断行しなければ今後のまちづくり計画にも支障を来します。議員の皆様を始め、町民皆様のご支援、ご協力をとらしくお礼申し上げます。

終

りになりましたが、行政サービスの向上と職員の服務規律の厳守について申し上げます。役場庁舎を訪れる町民の皆様には常に明るく、親切丁寧に迅速な対応を心がけて行政サービスの向上、庁舎内外を問わず礼儀正しく挨拶を励行し、町民の節となるよう心がけ、誰もが出入りしやすい庁舎、施設になるよう職員の指導を更に徹底します。

また、民間との賃金格差の是正や景気低迷により給与勧告制度創設以来初の給与の引き下げ勧告がなされたなかで、更なる職員の人員費カットを今年度も継続し、さらに、退職に伴う職員の補充も最小限に抑えるなど、職員にとつては事務執行には厳しい状況にあります。一我町の行政改革の検証を推進し進めるために創意、工夫を重ねながら職員の資質の向上を図り、行政サービスの低下を最小限に抑えるとともに、地方公務員としての自覚と全体の奉仕者として与えられた職務に誠実を旨として、厳正に身を持すよう指導の徹底を図ります。

以上申し上げ、町議会議員の皆様そして町民皆様の一層のご理解とご指導、ご協力をお願い申し上げます。私の町政執行方針といたします。

平成15年度 主な建設事業

(単位：千円)

事業種別	事業名	事業の概要	事業費
農林水産	公宅外壁塗装工事	1棟1戸	689
	町有施設下水道接続関連工事		15,000
	南浜自治会館増改築工事補助金		5,985
	沼浦自治会館屋根・外壁改修工事補助金		1,065
	財務会計システム整備費		9,151
	計		31,890
農林水産	町有林保育事業(除間伐)	6.2ha(栄町)	2,485
	緊急地域雇用創出特別対策推進事業	町有林景観等整備業務委託	2,562
	野中桜庭地先小規模治山工事	コンクリート土留・植栽工	10,000
	地域水産物供給基盤整備事業負担金	沼浦 skkブロック(ウニ・昆布産)66基	3,500
	野中船揚場整備工事	消波堤改良	20,000
	船揚場補修工事		1,871
	大磯漁港海岸砂除去工事	飛砂防止対策 大磯-分港東海岸(打上砂撤出)	600
	漁港漁村活性化対策事業負担金	雄志志内漁港-2m物揚場	6,200
	紫外線殺菌装置整備事業補助金	鷺泊	675
	浅海漁場調査事業補助金	鷺泊 ウニ資源調査等	500
	のな移殖放流事業補助金	鷺泊 76,500個	2,250
	資源管理事業補助金	鬼脇 ヨレモク駆除及び分布調査等	4,981
	昆布養殖施設整備事業補助金	沼浦、金崎地区	7,853
	うに人工種苗放流事業補助金	鬼脇 15mmサイズ3万粒	360
	うに類移殖放流事業補助金	鬼脇	3,000
	漁業精算管理システム導入事業補助金	鬼脇	1,251
	計		68,088
遊園	ベシ岬展望台歩道新設工事	歩道L=170m、木道L=30m	3,308
	ベシ岬展望台看板設置工事	1基 木板、アルミ板	247
	姫沼園地木道等補修工事	ウッドチップ、木道補修	1,165
	利尻北麓野営場駐車場外灯設置工事	100W防犯灯2基	666
	計		5,386
土木	自然休養林甘露水線舗装工事	車道舗装・歩道舗装L=320m	42,000
	鷺泊市街9号線改良舗装工事	車道舗装L=115m	29,000
	鬼脇市街4号線側溝改修工事	箱型管渠工300型L=115m	5,000
	野塚支線道路新設工事	W=3m、L=120m	5,700
	富士岬2号線舗装補修工事	W=4m、L=280m	2,300
	練泊8号線補修工事	W=2.5m、L=84m	1,200
	金崎海岸線舗装補修工事	W=4m、L=120m	1,000
	町道舗装補修工事		3,000
	町道側溝改修工事		3,000
	道路改良工事に係る土地購入費		1,800
	鬼脇港荷捌所前補修工事	上部アスファルト陥没補修	2,289
	鷺泊港内転石除去工事		156
	鷺泊港パッセージ塗装工事	雨よけ鉄柱部塗装 L=79m	1,050
	鷺泊港港湾区域変更申請図作成業務委託		105
	直轄港湾負担金		180,000
	漁船上架施設浚渫工事	鷺泊、鬼脇、本泊	5,520
	水洗便所改造等補助金		15,000
	高山植物展示園改修工事	舗装板取り外し 50㎡	299
	修景油噴水施設補修事業		276
	アムニティパーク温水利用型運動施設整備工事	混水利用型運動施設 F C760㎡	100,000
	茅葺ハウス管理棟習体工事		840
	町営住宅外壁改修工事		1,769
町営住宅屋根葺き替え工事		5,032	
第二見晴ヶ丘団地町営住宅建設工事	3階建 1棟12戸	173,643	
第二見晴ヶ丘団地町営住宅建設に係る附帯工事		2,000	
本泊団地実施設計等委託料		2,900	
飛行場標識施設補修工事		1,776	
	計		386,056
総合事業	アムニティパーク憩いの広場整備事業	基本設計・実施設計、憩いの広場 1,700㎡	54,100
	第二見晴ヶ丘団地町営住宅建設工事	3階建 1棟12戸	112,033
	計		166,133

「新しい時代にふさわしい、

心豊かな地域社会の形成」を目指して

平成15年度 教育行政執行方針

1. 学校教育

展に關心が持たれていること、また食品の不当表示による事件や国会議員の不正事件による辞職もありました。

次代を担う子どもたちの教育のために従来以上に学校、家庭、地域社会の連携を強めていくことが益々重要となつてきております。

学習が求められ、また、力とりでの評価や能力に応じた学習が求められております。

今、文部科学省においては、新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について中央教育審議会に諮問をしております

高めつつある一方で、精神的な充足感など「物の時代から「心」の時代を切り開いていくことが求められている時代であると思ひます。

こうしたことをふまえて、文部科学省においては、これからの人材育成についてのプランを「人間力戦略ビジョン」として作成し、「新しい時代を切り拓く」といふ新しい日本人の育成

が、現行の教育基本法を貫く「個人の尊厳」「真実と平和」「人格の完成」などの理念は、憲法の精神に則った

私達は、そのことを念頭に、二十世紀の教育の新しい方向を目指し、具体的な取組を進めなければならないと考えております。

「確かな学力」と「豊かな心」を育み国際社会を生きたる人材を育成するため、初等中等教育の成果をベースとしてさらに高い教育や研究を行うなど家庭や地域社会も含めて各学校教育を通じて一貫した展開を行うことが必要です。

平成十五年第一回定例市議会の開会にあたり、教育委員会が所管いたします教育行政の執行とその方針について申し上げますので、議員の皆様をはじめ町民各位の絶大なご支援とご指導をよろしくお願い申し上げます。

不偏的なものであり、新しい時代の教育の基本理念として大切にしていくなければならぬと考へられますが、新しい時代を切り拓く心豊かな教育の理念や原則について表現に不十分なところもあり、それらの理念や原則を明確にするため見直しをするべきとの意見があり中間報告が出されております。

完全学校週五日制が実施され、それに伴う新学習指導要領のねらいとするところは、「ゆとり」の中で「特色ある教育」を展開し子どもたちに豊かな人間性や基礎、基本を身に付け、個性を生かし自ら学び自ら考える力など

柱の1番目は「確かな学力の育成」です。これは「国民の教育水準は競争力の基盤である」という考え方に基づくものであり、具体的には、基礎、基本を徹底し自ら考える力の育成を図る学力向上アクションプラン

昨年を振り返りかえつてみますと、国際的な学術分野においては物理学賞と化学賞のノーベル賞のダブル受賞があり日本では三年連続という明るいニュースがありました。これは失敗を恐れず挑戦し、粘り強く研究し続けた結果の受賞であると思ひます。

学校完全週五日制が実施されて今年度は二年目になりますが、新しい学習指導要領のねらいとするところは「生きる力」を持つ子を育てるといふ観点から基礎・基本を確実に習得させ、自ら学び自ら考える力、問題を発見し解決する力、豊かな人間性、健康と体力などを子どもたちに身につけていくようにしようということをねらいとしております。

学校週五日制のもとの教育の意義というものについて、学校関係者だけでなく保護者や地域の方々と一緒に考えてみる必要もあると思ひます。

「学力」とは、知識偏重の学力だけでなく知識に加えて自ら考え判断し、そして表現する力などを総合的に高めることが必要であり、その実現のためには必要なものを深くという

一方、世界の各地で爆弾テロ事件などが相次いで発生しているほか、世界各地での紛争も後を断たない状態が続き、誠に憂慮に堪えないところでもあります。

国内においては、拉致事件の早期解決・進

「特色ある学校、安心して学べる環境づくり」柱の2番目は「豊かな心の育成」です。これは子どもたちに徳性の判断や社会のルールを守るといった基本的な倫理観、公共心を身

「優秀な外部人材の確保」

につけさせるとともに、他者を思いやる心を育むことの重要性を表しています。

- ・家庭の教育力向上
- ・地域の教育力向上
- ・道徳教育の充実
- ・伝統、文化の尊重
- ・奉仕体験活動や読書活動の推進

柱の3番目は「新しい時代を生きる日本人」です。この部分では特に「英語が使える日本人」の育成を目指しています。

以上が「人間力戦略ビジョン」の初等中等教育に関する部分ですが、激動する社会情勢が繰りかえり、「確かな学力」と「豊かな心」の育成が教育改革の中核をなすこととなり、子どもたち一人ひとりに新世紀を生きていく力を育むうえでも極めて大切であると考えます。

利尻富士町の学校教育推進のためには、教育関係施設の整備充実、環境の整備、教育内容の充実があげられます。

完全学校週五日制が実施されて、子どもたちの自然体験学習や精神的なゆとり、親と子のコミュニケーションの時間などが今までより多くなり、伸び伸びと育ち自由に学習できる時間もふえるなど、「ゆとり」の中で「生きる力」の育成が新学習指導要領のねらいとなっており、十分な学習が展開されるような支援体制の推進に努めてまいりたいと考えています。

さらに地域の特色ある学校づくりを一層推進する中で子どもたちの個性の伸長を図り、心豊かな人間形成と主体的に生きるための「知」「徳」「体」のバランスを考え実践的な力の育成を重視した学校教育の推進に努めたいと考えます。

学校教育の成果については、子どもたちの教育に直接携わる教職員の資質や力量に負うところが極めて大きいので、それぞれ教職員自らが専門性と使命感を自覚し、常に変化する社会に対応する教育を推進するため、実践的

指導力の向上を図ることが重要であり各種研修会等への積極的参加により資質向上が図れるよう努めたいと思います。

次に学校教育関係の主な事業等について申し述べさせていただきます。

施設関係では、本泊小学校屋根・外壁修繕として91万4千円、篤泊中学校校舎屋根修繕および一部内部改修として94万5千円、住宅環境整備関係では、教職員住宅新築事業費(1棟1戸)として159万2千円を計上しております。特色ある教育教材関係では、主なものとして篤泊中学校吹奏楽部の楽器購入で40万2千円、中学生の国際交流事業として259万円の情報化等のための教育用コンピュータソフト購入関係では29万円、このほか各小中学校用教材購入費として、庁用備品81万2千円、教材備品255万円をそれぞれ計上しております。なお、利尻郡学校給食組合の共同調理場施設の関係について少々ふれさせていただきますと、現在の施設は昭和四十八年度に建設された施設であり、老朽化も進んでおります。施設の改築について両町とも協議を進めており、本年度は実施設計の年度となっており、学校給食組合負担金も前年より568万円ほど増額となっております。現在の計画では、平成十六年度中に新しい施設を建設し、平成十七年度から改築した施設で調理したものを島内の各学校へ配送する予定となっており、宜しくご理解をいただきますようお願い申し上げます。

2. 幼稚園教育の充実

今日、核家族化の現象が進み保護者の育児不安や少子化の傾向による幼児同士のかわりの減少、自然とのふれあいはじめとする体験の不足など幼児を取り巻く環境も大きく変わってきており、幼児期にあさわし生活を送ることができる場としての幼稚園教育は一層重

要になってきております。

幼児期は、生活の中で自発的、主体的に一人ひとりがさまざまな環境の中で直接的、具体的な体験を通して、生きる力の基礎となる心構え、意欲、態度などを身に付ける時期であり、これまでの家庭という限られた親しい人間関係から、より広い世界へ目を向け、生活の場や他者との関係、興味など急速に広がる時期でもあります。

このようことから、幼児期においては、生活の中で一人ひとりの興味や欲求に基づいて幼児の取り組みようとしていることなどを的確にとらえ、それが十分にできたり、新たな活動を生み出したり乗り越えたりできることなどの体験が得られるよう環境の構成が必要であると考えます。

幼児期の生活は、家庭、地域社会、そして幼稚園と連続的に営まれています。幼児の家庭や地域での生活体験が幼稚園において教師や他の幼児との生活をする中でさらに豊かなものになり、幼稚園生活で培われたものが家庭や地域社会での生活に生かされるという循環の中で幼児の望ましい発達が行われています。

人間形成の基盤を培う幼稚園においては、教師の担う役割は極めて重要であり、教師は幼児の発達過程を見通し具体的なねらいや内容を設定し保育を展開することが大切であり、教師には幼児の活動の理解者、またあこがれを形成するモデル、さらには幼児の精神

的な不安定のもとでどこをどの役割などがあがられており、教師の資質の向上、不断の研究が何より大切なことと考えます。これらのことから平成十五年年度の篤泊幼稚園の指導方針として

(1) 心身の健康を培う教育

- 遊びを通しての探求、体力づくり
- 保育所と連携して行う運動会
- 春と秋の遠足、お散歩
- 子どもたちが落ち着いて製作や読書に取り組めるスペースの工夫と充実

(2) 自然体験、社会体験を重視した教育

- 栽培活動、収穫祭
- 海辺の遊び
- 幼年防火クラブを通しての活動やボランティア活動、職場訪問、祭典などを通しての地域社会体験
- 小学校、保育所の異年齢の交流やお年寄りの方との交流

(3) 知的発達を促す教育

- 日常の保育の中でも知的発達を促すような環境づくり、教材の確保
- 絵本の読み聞かせやお話屋さん、こぼれ歌を通して文字、絵への興味、関心を促す教育
- (4) 幼児の発達、特性に応じた教育
- 幼児一人ひとりの実態の把握と実態に即した指導案の作成
- 研究活動の推進
- (5) 集団中での協調性と成就感の持てるような教育
- 友達とのかわり合いを通して適切な人間関係をつくり上げるための支援
- お遊戯会、お祭り活動などを通してみんなと協力してやり遂げる楽しさや大切さを知る

(6) 家庭や各関係機関との連携

●家庭との連携や小学校との連携、交流、保育所との連携
以上の内容をもって篤泊幼稚園の指導方針である「生きる力を持つ子ども」を育てる教育を目指したいと思っております。
なお、料金等の見直しとの関係から、提案として「利尻富士町立幼稚園の保育料等徴収条例の一部改正について(案)」を提出しておりますので、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

88. 生涯学習のしくみ

人々が生涯のあらゆる時期に自分から進んで学習することと目標を持って学び方を自分で見つけ生涯にわたり続けるという特徴を持つ生涯学習については、従来の「学習」は学校などで教えてもらうという印象がありました。が、「生涯学習」という考え方があり、学びたいことや活動したいことを自分で見つけて積極的に取り組むという意味合いがあります。

近年、景気の落ち込みなどから、情報機器を活用する能力や職業に関する学習を行いたいという希望も増えてきています。

時代や社会の変化などに応じて、新しい技術や知識を向上させることにも益々関心やその必要性が高まっております。

今後の生涯学習の推進に当たっては、市民の今日的学習ニーズや社会の変化に的確に対応するとともに、体験や活動を重視した取組を進める必要があります。

利尻富士町においても急激に少子・高齢化が進む中、生き生きとした社会の実現や家庭教育力を高めていくことが一層求められており、加えて地域の環境問題への積極的な取組みが求められ、環境にやさしいライフスタイルの確立や資源・エネルギーの節約、リサイクル問題など環境を大切にする社会を形成することも益々重要となっております。

また、家庭や地域、職場などあらゆる分野において男女が対等に参画できるように共同参画社会を実現することや安心して活躍できるような環境の整備がより一層強く求められるとともに、そのような課題についての学習ニーズや必要性が高まってきており、生涯学習の在り方もさらに多様化、高度化が求められてきております。

これらのことから、各種の研修については

各関係機関や団体が連携して、それぞれの専門性を出しながら互いに学習し協力し合って町づくりの創造をしていかなければならないと考えます。

利尻富士町の生涯学習を推進するためには、個人、家庭、学校、地域のそれぞれにおいて自らの個性を生かしながら他人の個性を尊重し、ともに生かすことが生涯学習の理念となっており、利尻富士町生涯学習推進計画のもとに学校や社会教育関係団体との連携をさらに深めて、町民一人ひとりが人生のあらゆる時期、あらゆる生活の場において自己を高め、生涯にわたって学ぶことができる生涯学習社会の構築のため努力したいと考えておりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

4. 社会教育・文化・スポーツについて

・社会教育

全国的にも少子・高齢化が進んでおりますが、社会教育においては心の豊かさを求める国民意識の高まりの中で、余暇活動を豊かにしたりボランティア活動に参加したりするために必要な知識や技術を身につけるなどの学習への期待も高まってきており、また地域における教育や学習する機会の充実を一層図ることが重要とされています。町民が心豊かに生きがいのある生活を送ることができるよう地域のニーズもとらえながら社会の変化に対応できるよう、親子ともとなり親と親、子と子のふれあいなどにも配慮し、公民館活動等各種事業を進めたいと考えております。

・スポーツ

町民が心身ともに健康で、それぞれの年代に合ったスポーツを楽しむなどのため関連す

る施設の整備については、これまでも目標のご理解とご配慮により各種のスポーツ施設の整備も行って参りました。

町民の方々が気軽に参加できるスポーツ及びレクリエーションの振興などについて、体育協会をはじめ、スポーツ関係団体との連携を深め、町民の健康の増進と生涯スポーツの充実を図るため努力を続けたいと思っております。

・文化

離島である関係から、文化、芸術にふれる機会については限られることとなりますが、一人ひとりが進んで参加し、学び、楽しむことができる機会をつくるよう町内関係団体とも協議し、心豊かに活動し学ぶことのできる町を目指すため、文化協会をはじめ関係団体の自主的活動の支援を行い、地域に根ざした文化活動をより一層推進し、芸術文化にふれる機会の提供にも努めてまいりたいと思っております。

社会教育、文化、スポーツの振興のため、各種講座開設等の講師派遣等について新たな人材バンクの掘り起こしも行い、それぞれの支援にも努力したいと考えております。

本年度の社会教育、文化、スポーツ等に關連する主な事業について次に説明させていただきます。

文化、芸術関係の開催事業としては、「劇団たんぼ公演」等を予定しており、その事業費として40万円、図書関係では、書架や図書購入等合わせて31万4千円、文化協会補助金として10万円、スポーツ振興関係においては、体育協会補助金として13万8千5百円、青少年健全育成関係においては、青少年健全育成町民会議補助金として70万円、水泳教室開催関係では50万円、秀峰太鼓の関係では60万円、さわやかマラソン

大会開催の関係では39万円、社会体育館屋根改修工事では150万2千円、町民プールのボイラー取替では36万3千円、パークゴルフ場の備品購入では41万3千円を計上し、多目的グラウンド芝生化工事の関係では設計委託も合わせて63万8千円を計上しております。

以上、社会教育、文化、スポーツ関係についての方針を説明いたしました。が、よろしくご理解、ご支援をお願い申し上げます。

以上をもって平成25年度の教育行政の執行についてその方針を申し上げましたが、本年度は「新しい時代にふさわしい心豊かな地域社会の形成」を目指して、学校教育、文化、スポーツ、生涯学習等を推進したいと考えておりますので、これが実現のための学校と家庭、そして地域の方々との連携をより一層深めながら教育行政を進めてまいりたいと思っております。今後ともよろしくご理解、ご指導いただきますようお願い申し上げます。



↑今年度から2F図書室にあった書籍が役場1Fロビーへ移動しました。ぜひご利用ください。

平成15年度 主な建設事業

(単位：千円)

種別	事業名	事業の概要	事業費
教育費	本泊小学校修繕工事	屋根、外壁修繕等	914
	小学校校舎・教員住宅補修工事		1,500
	鷺泊中学校修繕工事		945
	校舎暖房機改修工事		1,050
	中学校校舎・教員住宅補修工事		1,000
	教職員住宅新築工事	1棟1戸 80.19㎡	15,375
	教職員住宅解体工事		525
	鷺泊幼稚園前階段通路改修工事		315
	多目的グラウンド整備工事	芝生化 面積11,783㎡	63,368
	総合体育館屋根改修工事		1,502
	町民プールボイラー取替工事		363
計		86,857	

特別会計

会計名	事業名	事業の概要	事業費
簡易水道	道々改良工事に伴う配水管移設工事	雄忠志内地区 L=140m	3,008
	道々改良工事に伴う配水管移設工事	石崎地区 L=400m	3,034
	道々改良工事に伴う配水管移設工事	湾内地区 L=130m	4,610
	道々改良工事に伴う配水管移設工事	本泊地区 L=196m	4,051
	市街9号線改良工事に伴う配水管移設工事	L=110m	945
	北部簡易水道第一接合弁フェンス設置工事		1,260
	既設接合弁解体撤去工事		900
	水道台帳作成業務委託		4,778
	料金収納システム導入費		2,005
計		24,591	
下水道事業	特定環境保全公共下水道管渠新設工事		110,000
	下水道事業認可変更業務委託料		3,990
	下水道台帳作成業務委託		5,618
計		119,608	
港湾整備	フェリーターミナルガラスブロック積替工事		600
	フェリーターミナル荷物保管庫補修工事	オーバースライダ一部取り替え	347
	フェリーターミナルトイレ盤等塗装工事		105
	フェリーターミナル屋上防水工事	雨漏り防止 600㎡	6,237
計		7,289	
温泉事業	温泉給水施設増圧工事		4,397
	温泉保養施設内部改修工事		710
	発電機購入費		2,403
計		7,510	
国保施設	診療所屋外給水管取替工事		903
	下水道接続関連工事		2,000
計		2,903	

一部事務組合

組合名	事業名	事業の概要	事業費
消防	消防団活性化総合整備事業	防火衣、酸素ボンベ他	1,536
	小型動力ポンプ付積載車事業		7,961
計		9,497	
福祉	共同調理場改築実施設計委託料等		9,825
	計		9,825
市場	埋立処分場建設事業		359,277
	焼却場破砕機エプロンコンベア整備工事		5,775
	し尿処理場投入室各種清掃業務委託料		2,088
計		377,140	

広報『りしり富士』6月号

<鷺泊地区>

- 毎週 水・木曜日
- 受付時間 14:30~15:00
- 予防接種会場：鷺泊診療所
- 申込先は接種日の前日までに保健センター（2-2320）へ。

※1日にお受けできる人数は3人までとなっております。

<鬼脇地区>

- 毎週 月～金曜日
- 受付時間 13:30~14:00
- 予防接種会場：道立鬼脇診療所
- 申込先は接種日の前日までに道立鬼脇診療所（3-1341）へ。

※5月から鬼脇診療所で『おたふくかぜ』と『水ぼうそう』も受けることが出来ます。

【毎週受付している予防接種】

3種混合・麻しん・風しん
おたふくかぜ・水ぼうそう

現在、鷺泊診療所・道立鬼脇診療所で第二・四週に実施しております。乳幼児予防接種の日程が5月1日より変更になりますのでお知らせいたします。

予防接種は感染症などの病気から子供たちを守るものです。お子さんの体調を見ながら望ましい時期に予防接種を受けることをお勧めします。

※ポリオ・結核予防接種（ツ反・BCG）につきましては集団接種の形で実施いたします。対象になるお子さんには、時期が近くなりましたらご案内の通知を送らせていただきます。

★ **5月からの乳幼児予防接種の日程が変わります**

現在、鷺泊診療所・道立鬼脇診療所で第二・四週に実施しております。乳幼児予防接種の日程が5月1日より変更になりますのでお知らせいたします。

★ **育児サロン やんちゃ広場からのお知らせ**

生後2ヶ月〜就学前のお子さんの方、保健センターに遊びにきませんか？月2回、子供の遊び場・両親の交流の場として保健センターを開放しています。様々な年齢層のお子さん達が集まり、毎回わいわい賑やかにしています。今までは月1回の開催でしたが、4月から2回に回数も増えました。

こんにちは保健師です
福祉課すこやか保健係

6月・7月 保 健 日 程

	日	内 容	地区・対象	場 所	時 間
6月	18(水)	児童相談	全	老人クラブ	13:30~14:30
	19(木)	〃	全	保健センター	未 定
	〃	鬼脇地区健康相談	鬼脇地区	漁組2階会議室	10:00~12:00 13:00~14:00
	20(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00
	23(月)	やんちゃ広場	全	保健センター	10:00~11:30
	26(木)	1.6歳・3歳児健診	全	保健センター	14:00~
7月	27(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00
	4(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00
	7(月)	やんちゃ広場	全	保健センター	10:00~11:30
	9(水)	乳児・2歳児健診	全	保健センター	10:00~
	11(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00
	18(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00
	22(火)	鷺泊地区健康相談	鷺泊地区	役場1階ロビー 老人クラブ	9:30~12:00 13:30~14:30
	23(水)	やんちゃ広場	全	保健センター	10:00~11:30
	24(木)	鬼脇地区健康相談	鬼脇地区	漁組2階会議室	10:00~12:00 13:00~14:00
	25(金)	機能回復訓練	全	保健センター	9:30~12:00

※日程が変更になる場合もありますので、防災無線等でご確認ください。

～情報スペース～

【新規学校卒業予定者に係る採用選考等期日一覧】

	中学校	高校
求人受理	6月20日から	6月20日から
選考開始	12月1日から	9月16日から
採用内定	12月1日から	9月16日から

町の行政相談員は
佐藤 純夫 さんです
年金、窓口サービス、登記、道路、郵便等の役所の仕事についての苦情意見要望をお聞きして改善を図ります。
北海道行政監察局

→ 求人申し込み・問い合わせは
ハローワーク稚内
(稚内公共職業安定所) 職業相談部門
〒097-8609
稚内市末広4丁目1-25
電話(0162-341120)

広報「りしり富士」6月号

学卒求人はお早めに！

ハローワーク稚内(稚内公共職業安定所)

ハローワーク稚内(稚内公共職業安定所)では、平成16年3月新規学校卒業予定者の求人申し込みを6月20日から受付いたします。

例年、就職希望者の多くは地元での就職を希望していますが、6月20日の求人受付開始後、早期に提出される札幌圏を中心とした管外企業からの求人により地元企業への求人を待ちきれず、学生や生徒達の就職指

管内各高等学校においては、早期から職業意識の形成支援に力を注いでおり、生徒の就職に対する取り組みも計画的に進められております。

地元で優秀な人材を確保し、地域経済の活性化と企業の発展のためにも、一日も早い採用計画の樹立と学卒求人の早期申し込みをお願いたします。

来春の卒業予定者は、地元求人の提出を心待ちにしています。

練泊自治会による普通救命講習

講習日：平成15年3月9日(日) 参加人数：18名



救急車がくるまでの応急処置や対処法など「父さん、わたし具合悪くなったらたのむど。」「おめえ倒れたら、おらすぐ行ってやる。」と隣近所で声を掛け合い、笑いながらも訓練にはなつていました。

身近な人が具合が悪くなった時、あなたは救急車が来るまでに何が出来ますか？

いざという時の為に受講してみませんか。日時・人数など何名でも構いません。お問い合わせは 利尻富士支署救急救助係(211119)

普通救命講習募集！

消防利尻富士支署救急救助係

～ 利尻島開拓のバイオニア 網島貞助の彰功碑 ～

さて、鬼脇の北見神社鳥居の山側に一つの石碑が建てられています。それが一体何の碑なのか、あるいは存在すら知らなかった方も少なくないのではないのでしょうか。



利尻島は、明治維新以後、青森や秋田など日本海沿岸地域からの移住者により開拓されましたが、そのバイオニアとなった人びとのうち

の一人がこの石碑の主です。三回目の今回は、その主である「網島貞助の彰功碑」について取り上げます。
石碑は、利尻島の水産業の発展改良や漁業組合の設立などの功績を残した網島貞助を讃え、

昭和二〔一九二七〕年十二月現在地に建立されました。

石碑に刻まれた碑文は風化し読みにくくなっていますが、漢文で記された内容を意識すれば次のとおりです。

網島は、天保十一〔一八四〇〕年八月、新潟県椎谷町で生まれました。安政二〔一八五五〕年に福山の松村幸右衛門に仕え、明治四〔一八七一〕年には十九名の漁夫とともに利尻島に出稼ぎし、同九〔一八七六〕年、松村漁場の支配人となり経営に力を尽くします。十八〔一八八五〕年独立後、鬼脇で漁業に従事し、十九〔一八八六〕年鬼脇に創設された利尻郡漁業組合の初代頭



↑ 網島貞助

取に推され、ニシン漁で得られた収益を漁法や漁具の改善、ニシン・昆布製品の品質向上などに充てました。また、漁業に限らず、

利尻郡や鬼脇村の総代などの職責、学校や病院の建設、軍や災民への献金などにも尽力しました。亡くなったのは、明治三十四〔一九〇一年一月のことです。写真は、建立当時のもので、「故網島貞助翁彰功碑除幕式記念絵はがき」として発行されています。三枚組になった絵はがきの内訳は「網島貞助の肖像」「建立当時のようす」「碑文」です。同じアングルで撮った現在のようすと比べると、周りの風景も一変しているのがよくわかります。

また、石碑に彫られた「網島君彰功碑」という標題は、北海道帝国大学（現在の北大）初代



↑ 現在のようす



↑ 建立当時のようす

総長の佐藤昌介による揮毫です。石碑は、昭和五十四年に町の有形文化財として登録されています。

このコーナーに対するご意見やご要望、情報などありましたら左記まで、古い写真などもお寄せください。

教育委員会社会教育係

担当 山谷

電話 二一―一三七〇

まちの



わ
だ
い

高橋知事 利尻島で懇談会

去る5月7日(水)、懇談のため高橋知事が来島されました。滞在中は、開発センターで行われた「まちがど対話21?」をはじめ、「こんにちはは知事です」と題した漁協女性部との昼食を兼ねた懇談会が鷺泊港味の市場で行われました。

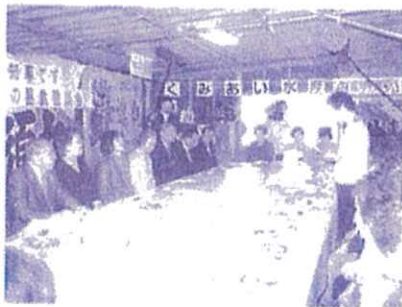


漁協女性部との昼食懇談会(味の市場)



「鷺泊下水浄化センター」供用開始

平成10年10月に事業に着手し、この度平成15年3月28日鷺泊下水浄化センターの通水式が行われ、大磯の一部から、本泊、富士岬、栄町、本町の一部で下水道が供用開始となりました。



姉崎 愛斗くん
H14.8.6生
【両親】貴・奈津絵
【住所】栄町

はじめまして、愛斗で～す！
ボクはお父ちゃんとお風呂とおばあちゃん
とお入る温泉が大好き！もう大きいお風呂は最高
だね！！
こんなボクだけど皆さんよろしくネ！



松谷 颯くん
H14.8.1生
【両親】大輝・つくみ
【住所】栄町

こんにちは！「金太郎」に
なりそうだった僕も9ヶ月
になり、ちょっぴりスリ
ム？になりました！
食欲旺盛、でも意外と身
軽・・・つむしがうつも
あるこんな僕をみなさんとう
そよろしくネ！！



板垣 智大くん
H14.8.19生
【両親】俊彦・直子
【住所】栄町

皆さん、こんにちは！
今はイクスラが大好き！色んな物に手を伸
はしたくてお父さんとお母さんをハラハラさ
せてるんだ。
散歩に連れて行っても
らうとコキケンさ！ど
うぞヨロシクネ！

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	住所
岸田 颯太	12.25	和 欣	清川
神成 沙羅	1.6	誠	本泊
成田 琉七	1.7	真 治	栄町
高橋 聖来	1.9	祐 彦	清川
富所 俊介	1.10	秀 樹	鬼脇
石川 楓	2.7	周 一	栄町
寺島 颯咲	2.17	信 宏	鬼脇
河端 夏実	2.18	英 樹	本泊
佐々木 恋	3.13	拓 馬	栄町
佐々木 愛	3.13	拓 馬	栄町
吉田 唯織	3.21	秀 昭	栄町
柏谷 和	3.27	愛 一	栄町

♥ご結婚おめでとうございます♥

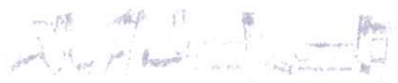
12.22	澤 利弘	(富士岬)
	藤嶋 智子	(利尻町)
1.14	山口 正博	(栄町)
	村口希代恵	(稚内市)
2.14	坂本 龍二	(栄町)
	川村こずえ	(本泊)
2.22	前川 雅司	(本泊)
	武田 智子	(本泊)
3.12	京谷 好晃	(栄町)
	成田奈美枝	(稚内市)
4.10	石戸谷裕樹	(鬼脇)
	山本ゆかり	(利尻町)

■おくやみ申しあげます■

氏名	月日	年齢	住所
高野 秀雄	12.20	75	野 塚
會津 ヨネ	12.21	76	本 町
安達 ハル	1.24	81	湾 内
佐々木友芳	1.31	70	鯉 泊
澤 ミヨ	2.7	74	富士岬
田村 ツマ	2.10	92	鬼 脇
山本 忠弘	2.17	77	雄忠志内
田澤 和子	2.20	69	栄 町
木下 吉郎	2.24	70	富士岬
高橋 静枝	3.7	60	湾 内
新田キヨノ	3.17	77	富士岬
神田 洋子	3.19	41	栄 町
入井光太郎	4.13	83	鬼 脇
石山 喜作	4.13	85	鯉 泊
佐野 幸作	4.16	85	鬼 脇

人口のうごき (4月末現在)

区 分	男	女	計	世帯数
福 泊	1,078	1,164	2,242	913
鬼 脇	489	539	1,028	505
合 計	1,567	1,703	3,270	1,418
昨 年	1,559	1,697	3,256	1,405



はじめまして、しょうきです。
天然パーマなので、髪が伸びると
アフロ状態になっちゃうのが今の
悩みです・・・
町で見かけたら、声をかけてくだ
さいね!!



岩木 翔輝くん
H14.6.24生
【両親】 孝紀・美洋子
【住所】 栄町



渡辺 優梨ちゃん
H14.8.7生
【両親】 健一・知子
【住所】 清川

はじめまして!優梨です!
10ヶ月を過ぎて人見知りせ
ずいつもニコニコしてい
て、大きい声を出しながら、
友達と遊んでいます!
みなさんヨロシクネ!

はじめまして、りゅうせいです。
みんなは僕を見て「お父さんと同
じ顔だね」と言ってくれます!
今僕はいろんなところにつかま
って立つのが大好き!早くつかま
らないで立ってみたいなあ。
みなさんどうぞヨロシク!!



岸本 龍世くん
H14.8.13生
【両親】 毅・麗
【住所】 港町



坂本 湖雪ちゃん
H14.12.10生
【両親】 浩次・ひろみ
【住所】 富士岬

皆さんはじめまして!坂本家待望
の女の子「こゆき」ちゃんです!
私には2人のお兄ちゃんがいる
が、いつも保育所に行っているか
らさみしいの...でも帰ってきたら
いろんなおもちゃを見せてくれ
るし、遊んでくれるから毎日が楽
しいよ!(たまにふまれるけど
オ...)こんな私はママに似てる!
愛想がいいのよ。町で会ったら声
かけてね!

善意ありがとうございます

ごぞいます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| ▽港町 加路 静雄 | ▽本町 吉野 鉄雄 | ▽本町 三浦 輝男 | ▽本町 フォレストライ | ▽本町 山本 祐子 | ▽本町 藤田キヨ子 | ▽本町 佐藤ノブエ | ▽本町 小松 容子 | ▽本町 新田 悟 | ▽本町 国分 忠雄 | ▽本町 三浦 美彦 | ▽本町 阿部 輝彦 | ▽本町 泉 ひろえ | ▽本町 核庭 徳正 | ▽本町 藤田 テイ | ▽本町 長森 正勝 | ▽本町 木谷 豊治 | ▽本町 堤 洋悦 | ▽本町 工藤 孝秀 | ▽本町 嶋中 敦子 | ▽本町 浅野 弘 | ▽本町 広田 収 | ▽大磯町 渡辺トシ子 | ▽大磯町 吉田 君子 | ▽大磯町 一橋 勝子 | ▽大磯町 一橋 肇 | | |
| ▽港町 笠井 健次 | ▽港町 丸田 イシ | ▽港町 田代 健一 | ▽港町 堤 クニ | ▽港町 丸田 尚 | ▽港町 菅原 正 | ▽港町 高橋 秀昭 | ▽港町 岩木留太郎 | ▽港町 安田ハナエ | ▽港町 佐々木 尚 | ▽港町 松谷金一郎 | ▽港町 高橋 和夫 | ▽港町 安達 義明 | ▽港町 後藤 進 | ▽港町 高橋サツエ | ▽野塚町 高橋 満 | ▽野塚町 入井 暹郎 | ▽野塚町 天内 進 | ▽野塚町 佐々木 秀子 | ▽野塚町 海老名 一雄 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 | ▽野塚町 佐々木 洋 |
| ▽野塚町 高野 恵子 | ▽野塚町 若木 邦康 | ▽野塚町 石川 篤 | ▽野塚町 若木 福治 | ▽野塚町 常名 恒雄 | ▽野塚町 田牧昌次郎 | ▽野塚町 石川 静夫 | ▽野塚町 長谷川 邦一 | ▽野塚町 高木 隆男 | ▽野塚町 坂牛 勇一 | ▽野塚町 八森 光族 | ▽野塚町 長谷川 勝美 | ▽野塚町 成田ユウ子 | ▽野塚町 高橋多美子 | ▽野塚町 吉岡 勲 | ▽野塚町 阿部 信吾 | ▽野塚町 小山田 茂 | ▽野塚町 神前 正敏 | ▽野塚町 鹿兒島 紳 | ▽野塚町 利尻町民生委員 | ▽野塚町 野塚 紳 | ▽野塚町 雄志内漁協女性部 | ▽野塚町 旭漁業婦人会 | ▽野塚町 旭漁業婦人会 | ▽野塚町 旭漁業婦人会 | ▽野塚町 旭漁業婦人会 | ▽野塚町 旭漁業婦人会 | |
| ▽野塚町 阿部 輝彦 | ▽野塚町 伊藤むつ子 | ▽野塚町 寺田 芳雄 | ▽野塚町 小島 新栄 | ▽野塚町 後藤美代子 | ▽野塚町 神田 靖祐 | ▽野塚町 鶴尾 清勝 | ▽野塚町 松林 英次 | ▽野塚町 大関 博 | ▽野塚町 竹口 美三 | ▽野塚町 小山内アヤ子 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 |
| ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | ▽野塚町 池田 隆 | |

編集後記

早いもので6月中旬、利尻では夏祭りのシーズンが近づいてきましたね。漁業も観光も最盛期となり、何かと忙しくなるこの時期は町には活気が溢れています。7月には北海道警察音楽隊「カラーガード隊」が来島します。詳細は防災無線等でお知らせしますのでぜひご覧ください。係りでは広報に関するご意見・ご感想をお待ちしています。どしどしお寄せください。

交通事故死ゼロ
1118日
(6月1日現在)

- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆
- ▽野塚町 池田 隆